

時 期	年間通して	時 間	2～3時間程度
難易度	★★☆	対 象	どなたでも



## 焼き板工作



### <活動の概要>

杉板の表面を焼き、磨いて木目の美しい1枚の板に仕上げます。木の板を焼くことで、耐久性を高め、板の劣化を防ぐことができます。古くから家の外壁としても使われていました。

看板や、ネームプレート、ウェルカムボードや写真立てなど、できあがった作品の用途は様々です。アクリル絵の具やポスターカラーペン等で絵や文字を描いて、個性豊かな作品を作りましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

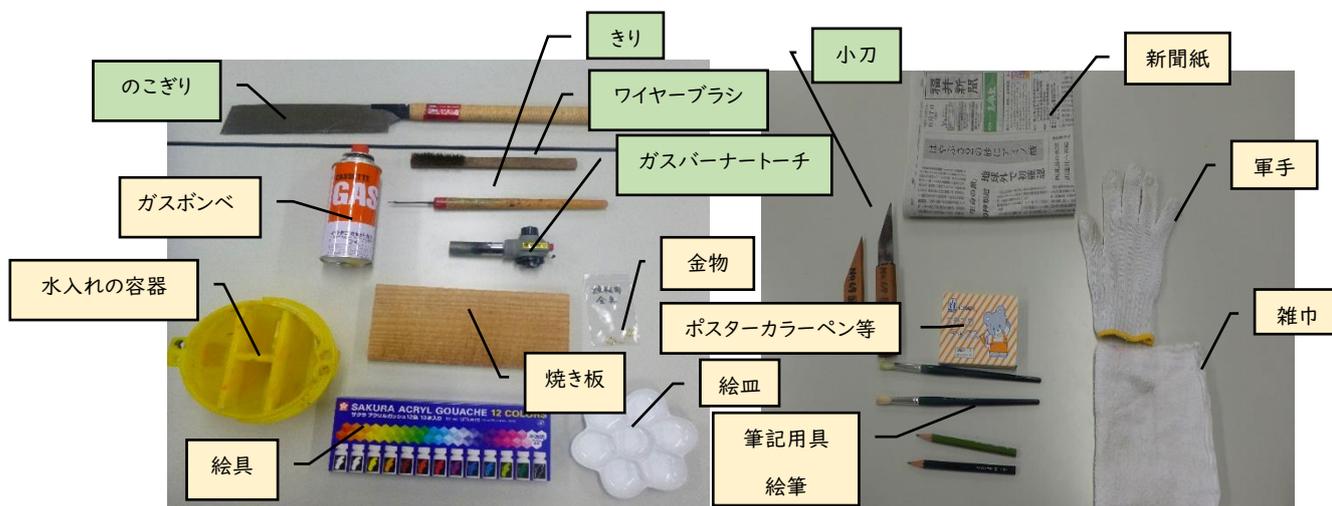
## 活動のねらい

- ・ 作品を作る楽しさと、完成させる喜びを味わう。
- ・ 自然物の利用を通し、自然の恵みを知る。
- ・ 創造力を駆使し表現力豊かな作品を作り仕上げる。
- ・ 仲間の作品を互いに鑑賞し、理解を深め合う。

## 準備物

自然の家で準備しているもの			団地で準備するもの(1人あたりに必要な数量)	
用具名	場所	個数	用具・材料名	個数
ワイヤーブラシ	活動用具棚③	140本	焼き板★	1枚
ガスバーナートーチ	活動用具棚③	5個	焼き板用金具★(10個入り/5人分)	必要数
のこぎり	活動用具棚⑥	7本	軍手	1双
きり	活動用具棚⑥	70本	筆記用具	適宜
小刀	活動用具棚⑥	200本	雑巾	1枚
※活動用具棚⑥は鍵がかかっていますので、事務室まで取りに来てください。			ガスボンベ(目安:3~4人の班に1本程度)	適宜
			新聞紙	適宜
			ポスターカラーペン等	適宜
			絵の具セット	一式
			水を入れる容器	1つ
			絵筆	1本
			絵皿	1皿
			★:焼き板、焼き板用金具は食堂事務室で販売しています。必要数を事前に注文してください。	

※自然の家で準備している活動用具の数は「令和8年度利用ガイドP.26-27」にも記載しています。



## 手順

- ① 食堂事務室で購入した板を用意したのこぎり、小刀で好みの形に切ります。  
※板を切る作業は時間がかかりますので、省いてもかまいません。



- ② 表面・側面・裏面をガスバーナーで焼き上げていきます。  
木目の凸凹が出るまで焼くと完成時に綺麗な木目が出ます。



※バーナーは屋外で使用し、人に向けてください。

- ③ 表面をワイヤーブラシでこすり、<sup>すす</sup>煤を落としていきます。  
雑巾で表面に光沢が出るまで磨きます。



※煤が出ます。屋外もしくは新聞紙を敷いた屋内（研修室等）で行ってください。

- ④ 木目が出たら、絵の具やポスターカラーペン等で絵や文字を描きます。絵の具などは完全に乾くまで時間がかかりますので活動後は平らな場所で乾かしましょう。  
乾いたらお好みで金具を取り付けます。キリを使って穴をあけてから金物を取りつけましょう。  
できた作品はお互いに見合しましょう。



※ノコギリ・キリ・ガスバーナーは、ケガや、やけどの恐れがあるので必ず軍手を着用し、指導者の監視のもと行って下さい。

### ガスバーナーの取付けと点火方法

- ① カチッと音がなるまでバーナーを回してガスボンベに取付けます。



- ② レバーを下ろし、バーナーが外れないように固定します。



- ③ 元栓を開き（ONの方に回す）、ガスの出る音がしたら点火レバーを押します。何度かレバーを押すことで点火します。火を消す場合は点火レバーを押し、元栓を閉めて（OFFの方に回す）から取り外します。

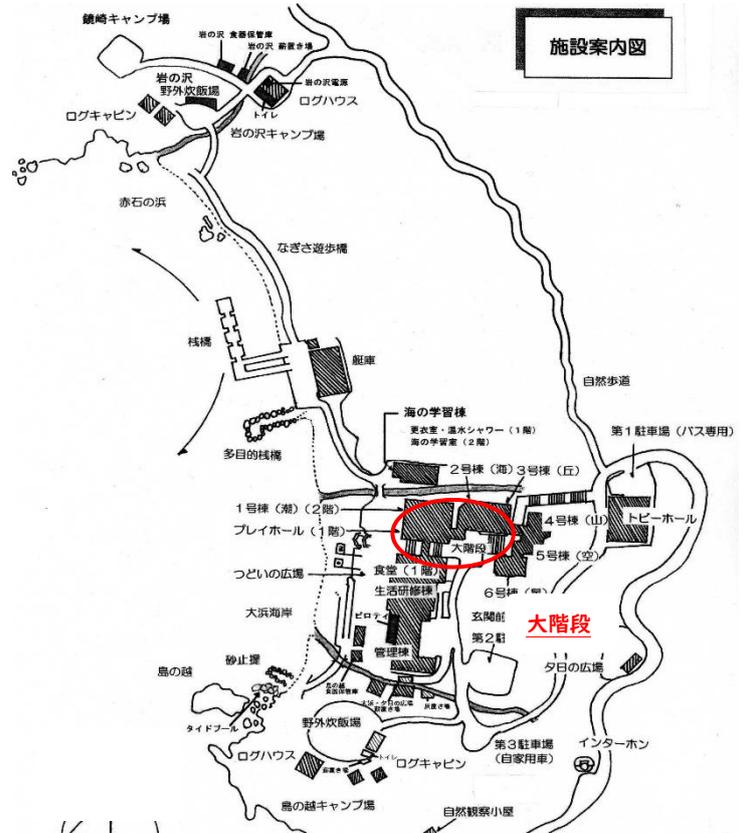
ガスバーナー元栓→



点火レバー↑

## 活動場所

- ・ 大階段
- ・ その他、場所をご相談ください。



## ふりかえりの視点

- 道具や木の素材を生かし、表現や工夫ができたか。
- 準備や後片付けなど、グループで行う作業へ関わり合い、協力できたか。
- 道具や火の取り扱いなど安全面で十分に配慮し、事故防止に努めることができたか。
- できた作品をお互いに見合うことで、それぞれのよさに気づくことができたか。

## 指導上の留意点

- 火や刃物を使う作業のため、事前指導を行い十分注意して活動してください。
- 荒天プログラムとして活動できます。晴れたときは、購入予定のものをキャンセルすることができます。
- 活動用具棚⑥の鍵は事務室で受け取り、使用後は施設の上、事務室に返却してください。

2016年3月作成

最終更新 2026年3月